

愛知学院大学歯学部ヒト細胞組織遺伝子疫学情報倫理委員会

令和2年度 第1回（持ち回り） 次第

令和2年5月25日

1. 審議事項

申請研究課題審査

○侵襲性歯周炎のヒト全ゲノム解読と遺伝子多型解析

研究責任者：三谷 章雄（歯周病学講座）

ヒト細胞・組織・遺伝子・疫学情報倫理委員会（任期 H31. 4. 1～R3. 3. 31）

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)
学内委員	河合 達志	歯科理工学講座 教授	内規第3条(1)愛知学院大学歯学部専任教員
	夏目 長門	口腔先天異常学研究室 特殊診療科教授	〃
	長谷川 義明	微生物学講座 教授	〃
	本田 雅規	口腔解剖学講座 教授	〃
	前川 眞見子	解剖学講座 准教授	〃
	○ 前田 初彦	口腔病理学講座 教授	〃
	◎ 松原 達昭	内科学講座 教授	〃
学外委員	遠藤 健司	中日新聞編集局 生活部長	内規第3条(2)愛知学院大学歯学部以外の学識経験者 並びに一般人
	○ 市原 佐保子	自治医科大学医学部環境予防医学講座 教授	〃
	加藤 宏一	愛知学院大学薬学部 教授	〃
	孫田 信一	(有)胎児生命科学センター 取締役副社長	〃
	馬場 礼三	中部大学生命健康科学部 教授	〃
	日比 英晴	名古屋大学大学院医学系研究科 顎顔面外科学 教授	〃
	山本 正彦	愛知学院大学心身科学部 教授	〃
	横山 貴之	弁護士	〃

顧 問		鈴木 慎太郎	愛知学院大学法学部 教授
-----	--	--------	--------------

令和2年度第1回(持ち回り)愛知学院大学歯学部ヒト細胞組織遺伝子疫学情報倫理委員会
研究承認課題

○ゲノム、エピゲノム解析による唾液腺悪性腫瘍の病態の解明

研究責任者：三谷 章雄（歯周病学講座）

研究課題：侵襲性歯周炎のヒト全ゲノム解読と遺伝子多型解析

概要：歯周病は、細菌が原因で歯肉に炎症が生じる疾患で、歯を支える歯周組織が破壊されることで、歯の脱落が起こる病気である。中でも、重度歯周炎である侵襲性歯周炎は、若年者に発症を認め、急速な歯槽骨の破壊を認める。また、家族内集積を認めることから、遺伝的要因の関与が考えられているが、その原因は未だ明らかではない。

そこで、本研究では、侵襲性歯周炎の臨床データを収集し、同患者のデータベース化を実施することで、日本における侵襲性歯周炎患者の実態を把握し、今後の同疾患の原因究明に役立てることを目的とする。